

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	Research Seminar II (for seniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	辻 和希
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 <ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 <ul style="list-style-type: none"> ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4) 卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 <ul style="list-style-type: none"> ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を以下に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。 なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 3. 社会性：100%</p>		
使用資料 <テキスト>	必要があるば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があるば、別途指示する。
授業外学修等	<p>卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休業期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。</p>		
授業外質問方法	<p>研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。</p>		
オフィス・アワー			